

令和5年度 第9回鳳来中部地域協議会 会議録

日 時	令和5年11月24日（金） 午後7時00分～午後8時50分	場 所	市民センターほうらい 集会室3
出席者	委員 16名		
	事務局 4名		
欠席者	5名	傍聴者	なし
議題・議事・発言等			
<p>1 あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 令和6年度地域活動交付金事業について</p> <p style="margin-left: 40px;">①募集要項について</p> <p style="margin-left: 40px;">②審査基準について</p> <p style="margin-left: 40px;">③採択審査会の実施方法について</p> <p>3 ワークショップ</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 鳳来中部マイレージ事業について</p> <p>4 報告事項</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) シニアセーフティドライブ推進事業の実施</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 防災キャンプ in 鳳来中部及び鳳来中部防災フェスタ2023</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 鳳来中部防災茶話会 令和6年1月中に開催予定（後日通知）</p> <p>5 その他</p> <p>第10回鳳来中部地域協議会</p> <p style="margin-left: 20px;">日時 令和5年12月22日（金）午後7時から</p> <p style="margin-left: 20px;">内容 地域活動交付金事業について、地域協議会委員の改選に向けて</p>			
会議内容			
第9回 鳳来中部地域協議会			
令和5年11月24日（金） 午後7時00分～午後8時50分			
<p>1 あいさつ</p> <p>矢澤会長</p> <p>議事に先立ち、事務局から議事録署名人として山田宏治委員と伊藤隆委員を指名した。</p> <p>2 議事</p> <p style="margin-left: 20px;">○菅沼事務所長よりあいさつ</p> <p>(1) 令和6年度地域活動交付金事業について</p> <p style="margin-left: 20px;">○資料に沿って、事務局より説明。</p> <p style="margin-left: 40px;">・項目ごとに事務局案として例年と同じ内容を事務局案としているが、本年度実施の反省を含めて修正すべき点があれば修正したい。</p>			

①募集要項について

- ・募集対象は、16歳以上が3人以上いる団体。
- ・募集の期間は、令和6年4月5日から5月17日までとする。
- ・審査会の時期は、令和6年6月中旬とする。
- ・交付金の上限額は、30万円を上限とし、審査会後に30万円以上の予算残額がある場合は追加募集ができるとする。

【質疑応答】

特になし。

【議事】

賛成多数により、事務局案のとおりとなる。

②審査基準について

- ・総事業費が10万円未満の団体は、審査会での説明を省略できるものとする。
- ・審査の基準では、公益性、実現性、継続・発展性の観点で、それぞれ5から1点の5段階で採点する。
- ・採点方法は、各団体の採点の中で1番点数が高いものと、低いものを省いた残りの点数の平均点で採点する。
- ・採点結果が同点となった場合は、審査の基準の公益性に係る点数が高い方が上位とする。
→この審査の基準については、今年度、新たな団体が新たな事業を実施する際に、事業内容が分かりにくく審査が難しい、新規団体からすると審査基準が厳しいのではないかと、採点票の普通とは何を基準にしたらいいのか、などの意見をいただいた。
- ・事務局としては、限られた申請内容の中で、公平かつ適切な審査をしていただいていると認識しているが、反省点を踏まえて協議をお願いしたい。

【質疑応答】

特になし。

【議事】

賛成多数により、事務局案のとおりとなる。

③採択審査会の実施方法について

- ・傍聴人の定数については定数を設けずに実施、発表・質問の時間は発表5分、質問3分とする。
- ・審査結果の取りまとめについては地域協議会委員のみで行い、非公開とする。
- ・団体に関与する委員については、交付金の申請者又は構成員となっている者を関係者として位置付け、関係者は自身が所属する団体の審査には加わらない。ただし、審査結果の取りまとめには参加するが、自身の所属する団体に関して意見しないとする。

【質疑応答】

Q 発表時間について、5分ちょうどで終わる団体が少ない。多くの団体が時間を過ぎていていると思うので、7分にしたらどうか？

A 団体によって発表する時間が異なるため、表現を10分以内としたらどうか？

Q 説明すべき項目を明確に示して発表してもらえば、評価しやすいと思う。

A 申請団体へは、説明する項目に関してアドバイスをする対応をしたい。

【会長提案】

発表7分質問3分として、全体で10分としたらどうか？

【議事】

賛成多数により、発表・質疑の時間については、会長提案のとおり発表7分質問3分とし、その他は事務局提案のとおりとなる。

3 ワークショップ

(1) 鳳来中部マイレージ事業について

○資料に沿って、事務局より説明。

- ・事業概要としては、地域活動に参加することでポイントを付与し、ポイント上限に達した方先着100名に3,000円分のイーじゃん券を進呈するもの。
- ・事業の流れとしては、以下の通り。
 - ①ポイントを貯める
 - ②申請する。
 - ③イーじゃん券を後日事務局から郵送にて送付
- ・事業の参加対象については、鳳来中部地区に住所がある方と鳳来中部地区内の地域活動の運営に携わる方とする。
- ・運営に携わる方の判断については、各行事の代表の判断に委ねる。
- ・ポイントについては、地域活動に参加することで報酬を受け取る方や利益目的の方は対象外とする。
- ・ポイントカードへスタンプを押すのは、地域活動当日とし、事前に主催者に対しスタンプを貸出することを想定。主催者の判断でスタンプを押していただく。
- ・申請に関しては3ポイント貯まったら事務所へ提出してもらおう形とするが、申請は1人につき1回までとする。
- ・ポイント対象の地域活動は、チラシに記載しているものを想定し、最終的には地域協議会で決定したものを対象としたい。
- ・「全体の流れ」と「ポイント対象の地域活動」について各グループで話し合いをしていただきたい。

【意見交換】

【情報共有】

「Aグループ」

- ・先着よりも申請者全員を対象とした抽選会にしてはどうか？
- ・賞金の単価を上げたらどうか？
- ・3ポイントは少ないと思う。

- ・不正防止が必要。スタンプに日付などを入れた方がいい。
- ・草刈りなどの半強制作業は対象外とする。
- ・他の地区の活動の手伝いも対象作業としたらどうか？
- ・運営者が3ポイントでなく、1ポイントでいい。

「Bグループ」

- ・先着だと不公平さが出てくるため、期日を設けて抽選などがいい。
- ・運営者が3ポイントでなく、1ポイントでいい。
- ・草刈やお祭りは対象外。
- ・ポイントの持ち越しをできるといい。

「Cグループ」

- ・賞金の単価をあげるのはどうか？
- ・先着順だと行事が前半にない地区もあるので不公平。
- ・期間を設けて、ポイントをたくさん持っている人から順に選ぶのはどうか？
- ・お役の作業は対象外。
- ・地域意見交換会を対象にしたらどうか？
- ・スタンプカードに参加した事業名を書けるといい。

4 報告事項

○次第に沿って、事務局より報告。

(1) シニアセーフティドライブ推進事業の実施

- ・定員20名に達したため、応募は終了とする。

(2) 防災キャンプ in 鳳来中部及び鳳来中部防災フェスタ2023

- ・防災キャンプについては、地域の方々も含め40名ほどが参加する。
- ・防災フェスタが26日に開催されるため、地域の方もぜひご参加いただきたい。

(3) 鳳来中部防災茶話会

令和6年1月中に開催予定。

- ・茶話会の内容については、地域の防災訓練がマンネリ化しているなどの課題がある中、今年度鳳来中部区内で複数の防災イベントや体験プログラムが行われた。
- ・今後鳳来中部の防災がどうなっていくのがいいか皆さんで話せる場を設けたい。
- ・開催予定日としては、1月26日（金）を予定。

5 その他

第10回鳳来中部地域協議会

- ・次第のとおりで決定となる。

(終了 20時50分)